

江戸バスの抱える課題と今後の検討内容

Ⅰ これまでに得られた主な意見・要望と対応の方向性

Ⅰ-1. これまでに得られた意見・要望

区長への手紙・お客様の声カードでのご意見

- ・これまでに「区長への手紙」「お客様の声カード」などで頂いたご意見は以下のとおりである。
- ・逆回りの要望が最も多く、次いでルート改善となっている。

分類	受領方法		
	区長への手紙	お客様の声カード	合計
逆回りの要望	28	18	42
ルート改善	16	26	41
ダイヤ改善希望 (終バス繰り下げ、乗り継ぎなど)	4	22	26
車内環境の改善	6	14	20
バス停の改善	1	7	8
バス停通過クレーム	3	3	6
バスは不要	3	0	3
バス導入に対するお礼	6	4	10
その他要望	19	13	29

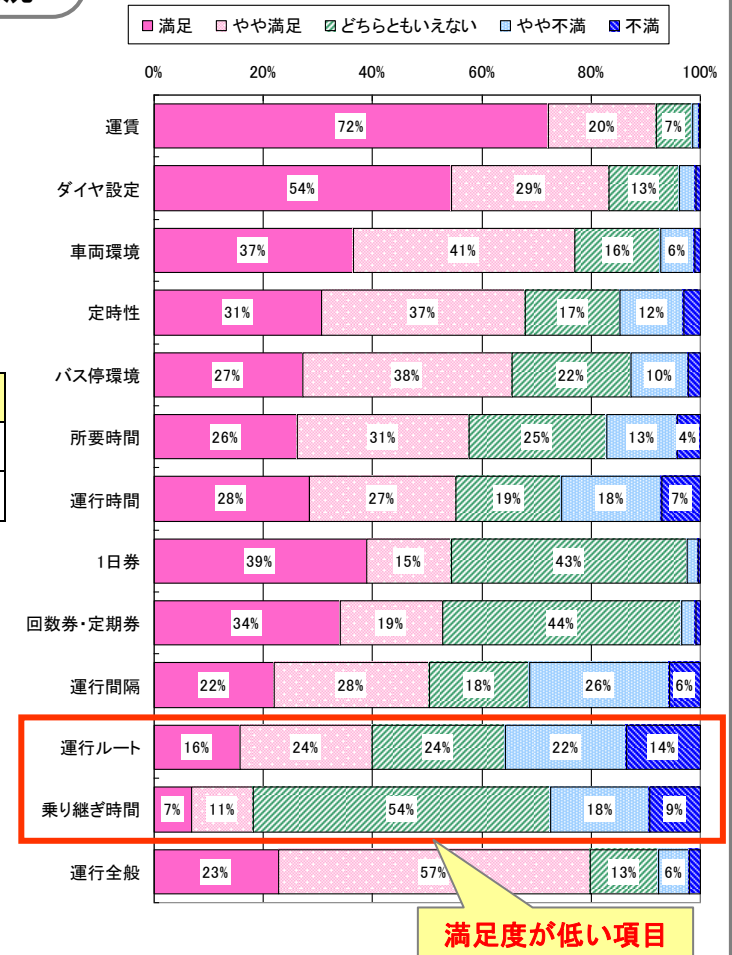
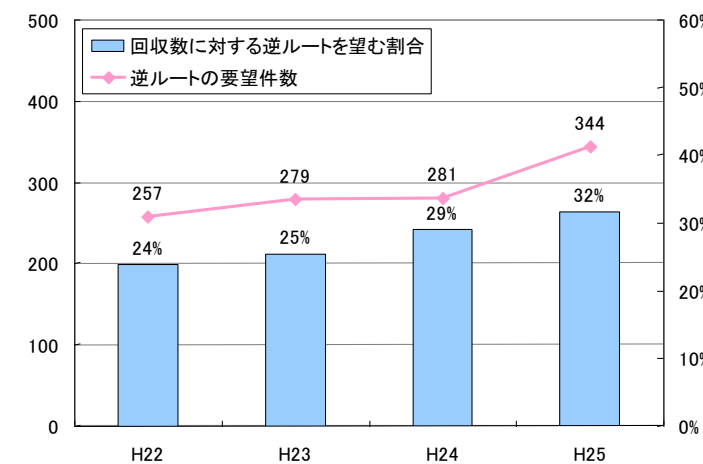
※複数回答あり
※運転手の対応に対する意見は、運行計画と直接関連しないため、集計の対象外とする

アンケート調査での運行仕様に対する満足度の状況

- ・アンケート調査結果でも、運行ルート、乗り継ぎ時間の満足度が特に低くなっている。
- ・また、自由意見の内容をみると、逆ルートの要望は344件挙っており、運行ルートへの要望件数に対して半数程度、回収数に対して30%以上と、自由意見のうち多くの割合を占めている。

<アンケートでの意見数（H25 調査結果）>

逆ルートに関する意見数	344 件
運行ルートへの意見（693 件）に占める割合	49.6%
回収数（1,087 票）に占める割合	31.6%



満足度が低い項目

これまでにいただいた意見や要望の多くは【逆ルートの運行】を希望するもの

しかし、現在と同じサービス水準で運行を行うには、
逆ルートのために現在と同額程度の運行経費が必要であり、
限られた財政のなか実現することは大変難しい

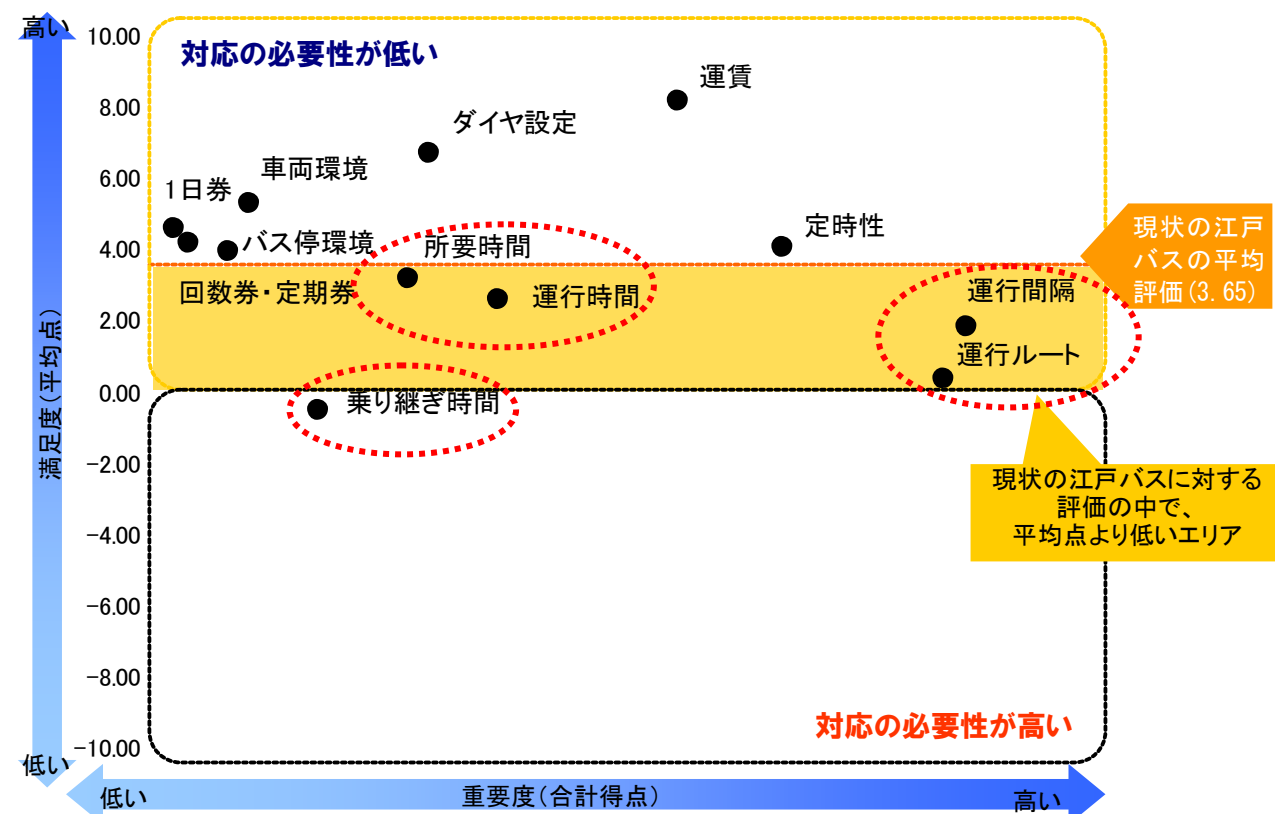
逆ルートとしての機能を持ち、南北循環を補完するようなルートの検討が必要

II 具体的な意見・要望

II-1. アンケート調査で把握した課題の具体的な内容

1-1. 運行仕様に対する要望

- ・利用者へのアンケート調査結果では、運行ルート、運行間隔は満足度が低く改善の重要度が高い事項となっている。また、乗り継ぎ時間、運行時間、所要時間についても、平均よりも満足度が低い事項である。

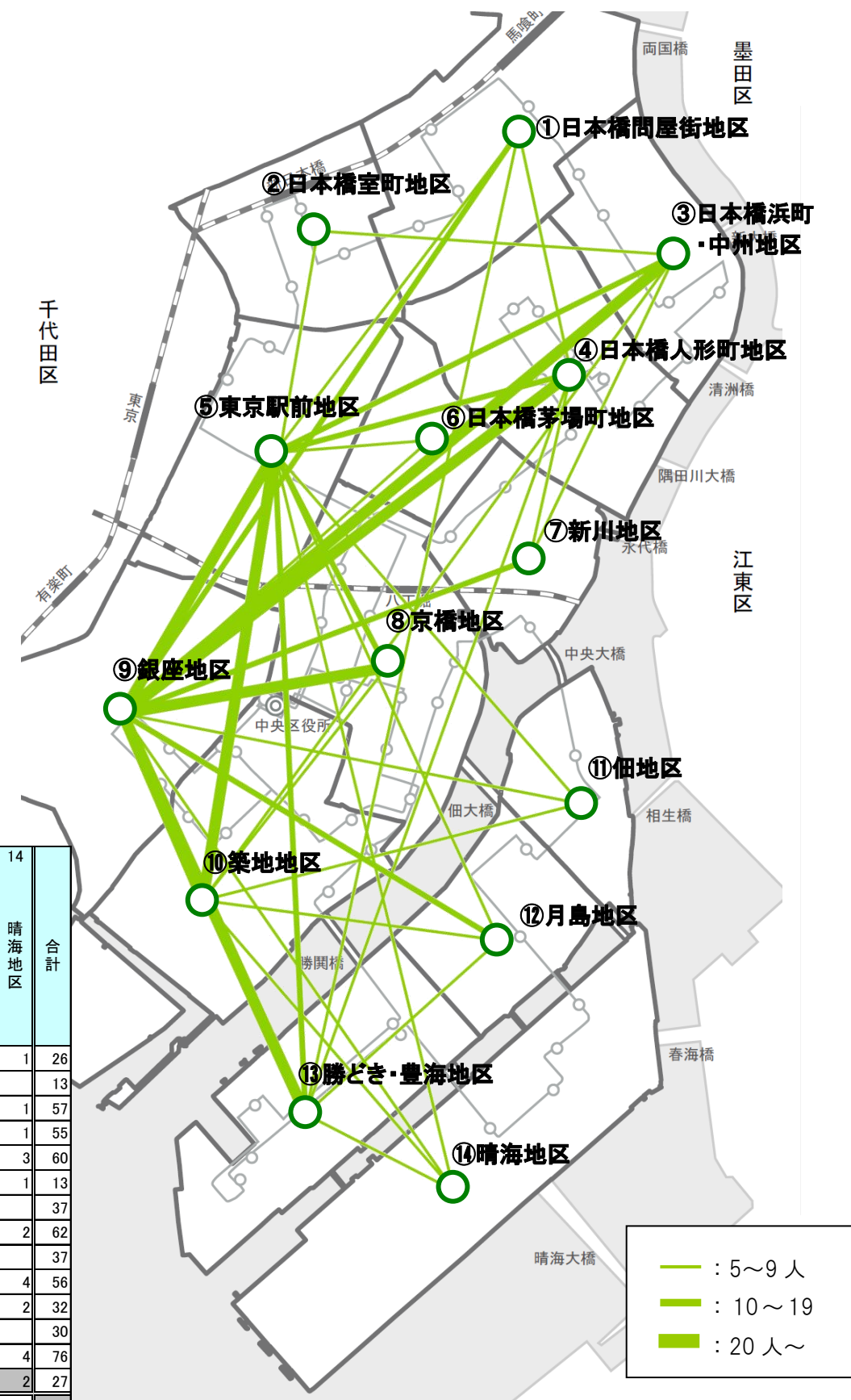


1-2. 運行ルート

- ・アンケート調査で把握した運行してほしいルートを見ると、最も意見数が多い区間は、勝どき・豊海地区と銀座地区を繋ぐ区間で、次いで京橋地区と銀座地区、日本橋浜町・中州地区と銀座地区を繋ぐ区間と、各地区から銀座地区への運行を望む意見が多く挙がっている。
- ・また、築地地区や東京駅前地区への運行要望も多い。

乗	降	1 日本橋問屋街地区	2 日本橋室町地区	3 日本橋浜町・中州地区	4 日本橋人形町地区	5 東京駅前地区	6 日本橋茅場町地区	7 新川地区	8 京橋地区	9 銀座地区	10 築地地区	11 佃地区	12 月島地区	13 勝どき・豊海地区	14 晴海地区	合計
1 日本橋問屋街地区			2	1	1	7				12	1			1	1	26
2 日本橋室町地区	1			1		1	1	2	1	2	2	1			1	13
3 日本橋浜町・中州地区	3	4	1		1	12	2	2		27	3		1		1	57
4 日本橋人形町地区	5	3	2	2	2	8	2		1	21	3		2	5	1	55
5 東京駅前地区			1	2	3	2	3	1	6	19	17	1		2	3	60
6 日本橋茅場町地区						2				7	2			1	1	13
7 新川地区	3		1	4	6	2	1		2	16	2					37
8 京橋地区	1		2	3	1	8				36	3	1	3	2	2	62
9 銀座地区	1		1	7	7	4		3	3	5	4		1	1		37
10 築地地区	1		3	2		9	2	2	2	21		2	3	5	4	56
11 佃地区			1		4	6	1		2	8	7		1		2	32
12 月島地区	1		1	1	1	6	2	1	1	11	3	2		1		30
13 勝どき・豊海地区	4		2	1	1	8	3		1	41	2	2	7		4	76
14 晴海地区	1		1	1		6			1	7	2	2	3	1	2	27
合計		21	22	25	27	81	17	11	20	233	51	11	21	20	21	581

☐ 運行希望者が10人以上のOD



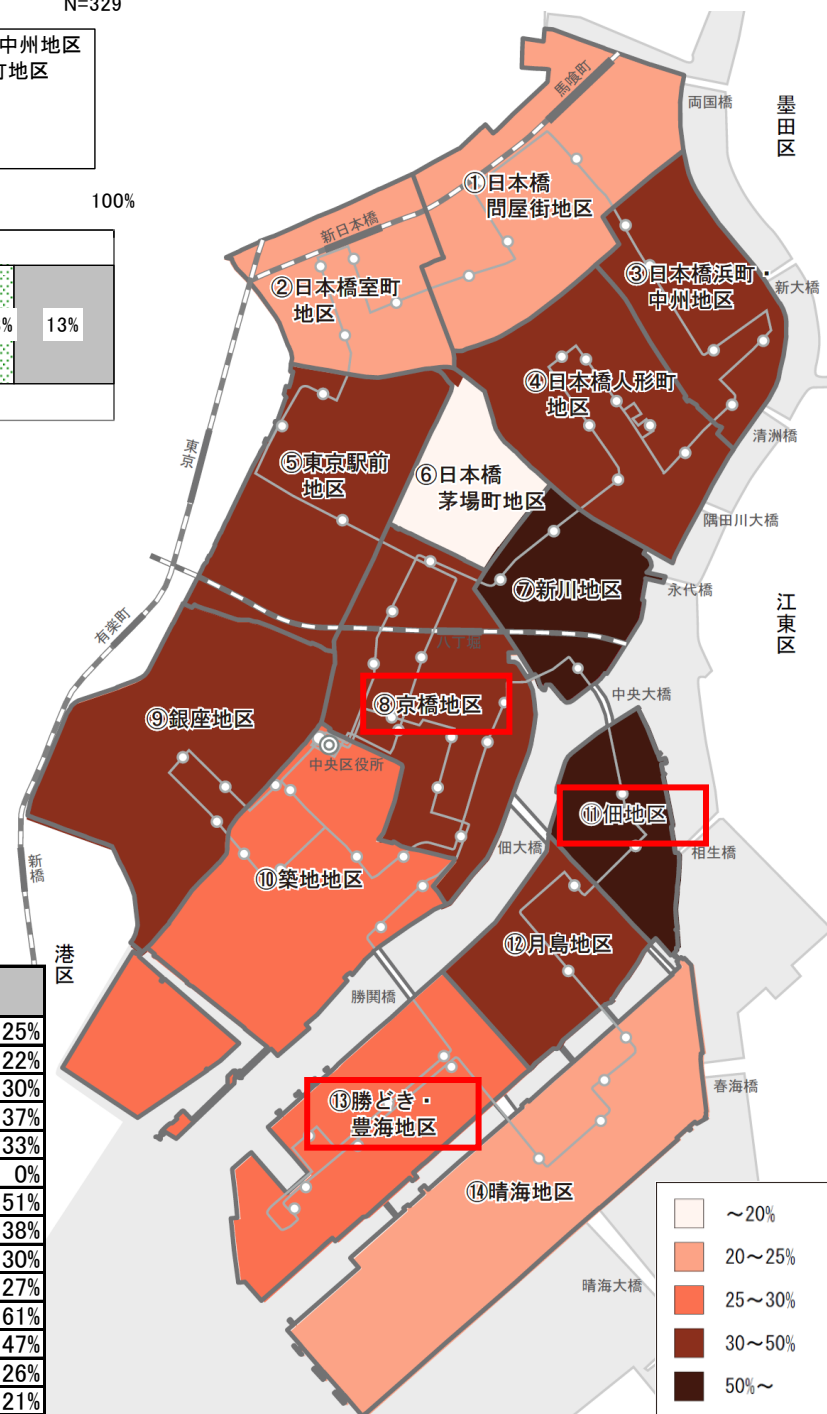
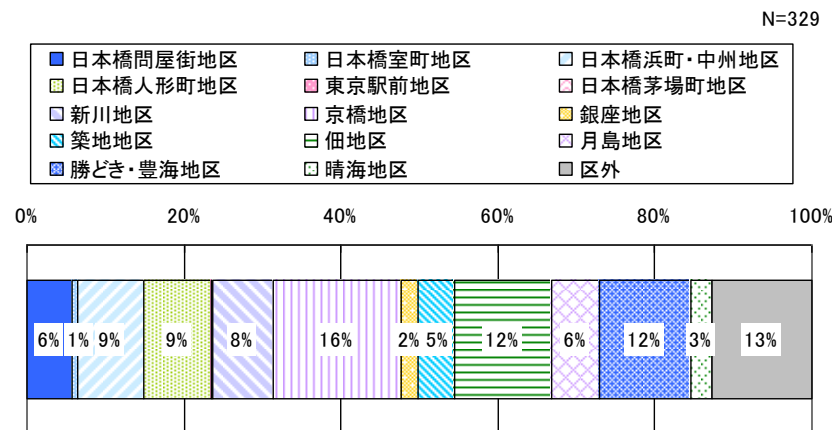
※乗降の合計で5人以上が回答している区間のみ表示

(1) 逆ルートの要望

- ・前に示したように、逆ルートの運行を望む意見は経年的にも多く挙がっている。
- ・逆ルートの運行を望む方の居住地をみると、京橋地区が16%と特に多く、次いで佃地区、勝どき・豊海地区が12%となっている。また、回答者の居住地に対する割合でみると、佃地区、新川地区で要望の割合が高く、佃地区では60%以上の方が要望している。

<逆ルートを望む方の居住地>

<回答者数に占める逆ルートの運行を望む方の割合>

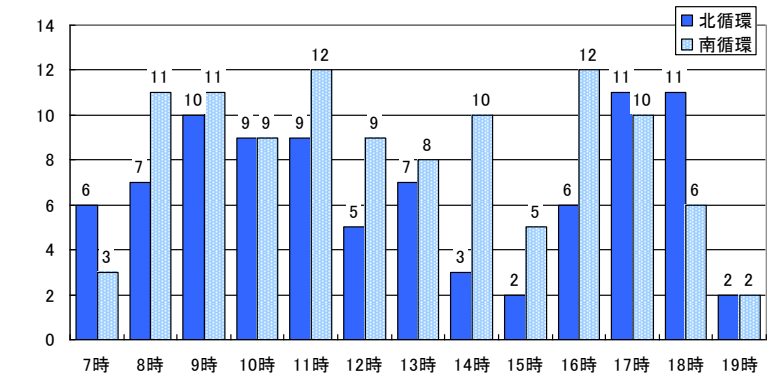


居住地	逆ルートの運行を望む方	回答者数	割合
日本橋問屋街地区	19	77	25%
日本橋室町地区	2	9	22%
日本橋浜町・中洲地区	28	92	30%
日本橋人形町地区	28	75	37%
東京駅前地区	1	3	33%
日本橋茅場町地区	0	4	0%
新川地区	25	49	51%
京橋地区	54	142	38%
銀座地区	7	23	30%
築地地区	15	55	27%
佃地区	41	67	61%
月島地区	20	43	47%
勝どき・豊海地区	38	146	26%
晴海地区	9	42	21%
合計	287	827	35%

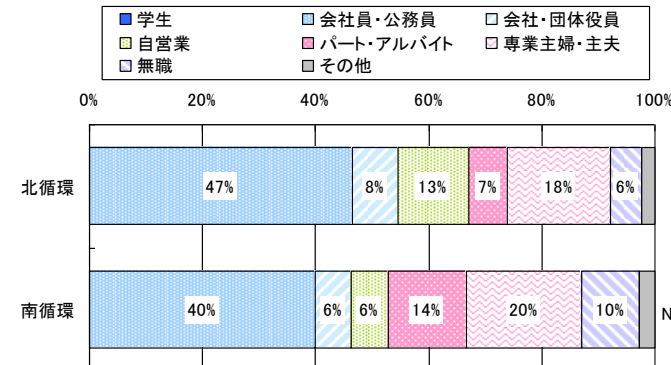
1-3. 運行間隔について

- ・運行間隔を短くしてほしいと回答した方の利用時間帯をみると、北循環では朝夕の時間帯で要望する方が多くなっているが、南循環では時間帯による差が小さくなっている。
- ・また、回答者の職業は、会社員・公務員が40%以上と多く、特に北循環では半数程度である。また、年齢では、北循環、南循環ともに40代の方の割合が多いが、北循環では60代の割合も25%と高い。
- ・主に、通勤目的で利用している方からの要望が多いと考えられる。

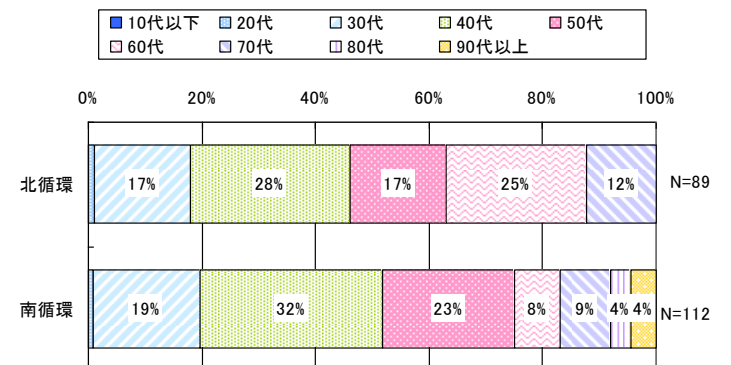
南北循環別の運行間隔を短くしてほしいと望む方の乗車時間帯



運行間隔を短くしてほしいと望む方の運行経路別の職業



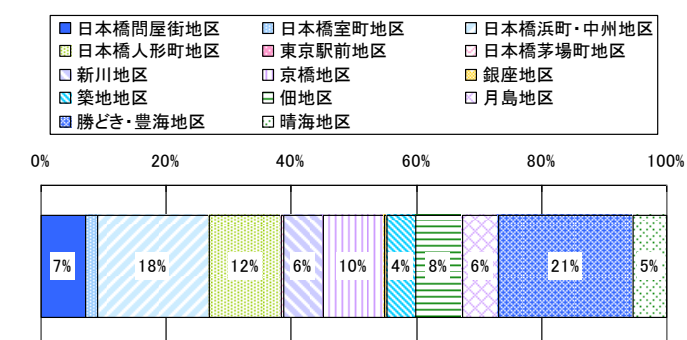
運行間隔を短くしてほしいと望む方の運行経路別の年齢



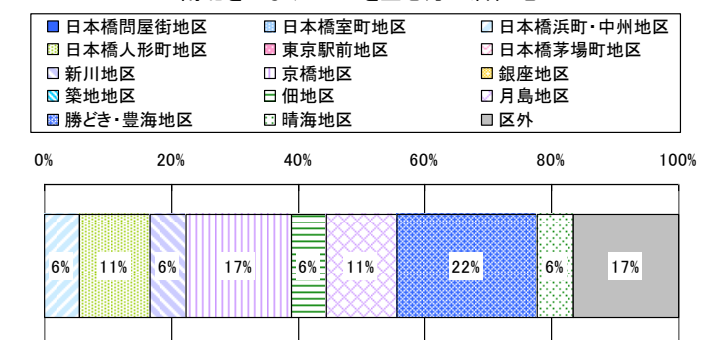
1-4. 乗り継ぎ時間について

- ・乗り継ぎ時間について不満を持っている方は、勝どき・豊海地区に居住している方が多く21%であり、次いで日本橋浜町・中洲地区が18%である。また、件数は少ないが、南北をつなぐルート of 運行を希望している方の居住地をみると、勝どき・豊海地域に居住している方が最も多く、次いで京橋地区となっている。
- ・勝どき・豊海地区、日本橋浜町・中洲地区の方が北循環と南循環の乗り継ぎ改善を要望している。

乗り継ぎ時間へ不満、やや不満と回答した方の居住地



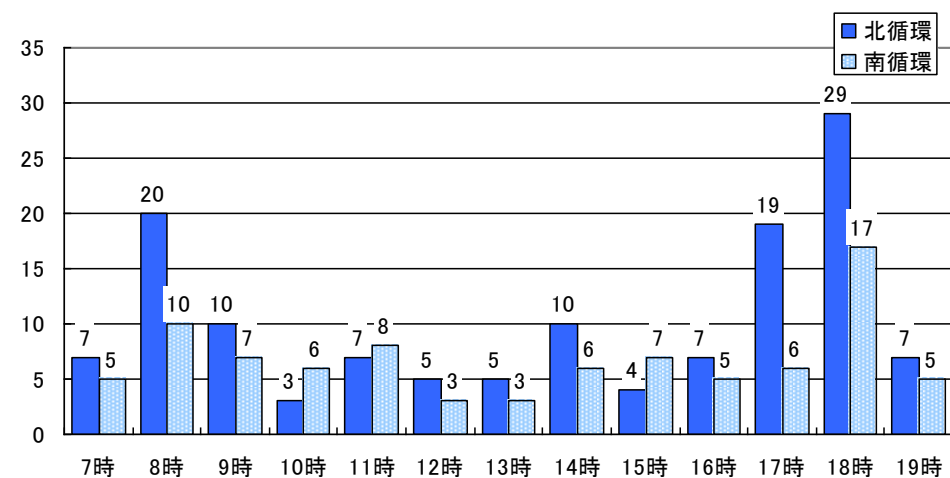
南北をつなぐルートを望む方の居住地



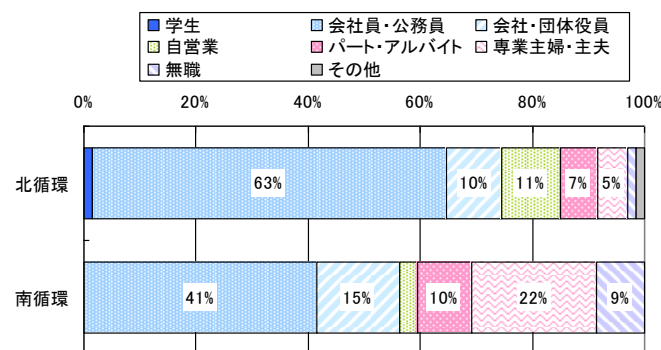
1-5. 運行時間について

- ・運行時間に関する要望の内容では、終発時間を遅くしてほしいとの意見が大半であり、4分の3を占めている。
- ・運行時間を遅くしてほしいと回答した方は、朝夕の時間帯での利用者で、特に18時台の利用者が多く、また、北循環の利用者の方が意見が多くなっている。
- ・要望者の職業をみると、北循環では60%以上が会社員・公務員であり、南循環でもその割合は40%以上と高い。年齢では、北循環は40代が最も多く、南循環では30代が多い。

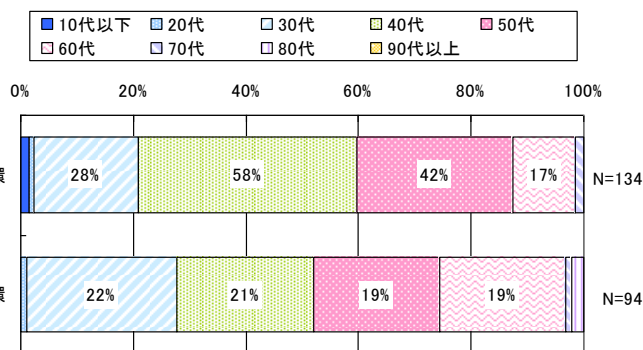
運行時間に対する意見の内容	件数
運行時間について	210
終発を遅くしてほしい	159
始発を早くしてほしい	49
その他運行時間に関して	2



運行時間を遅くしてほしいと望む方の運行経路別の職業



運行時間を遅くしてほしいと望む方の運行経路別の年齢

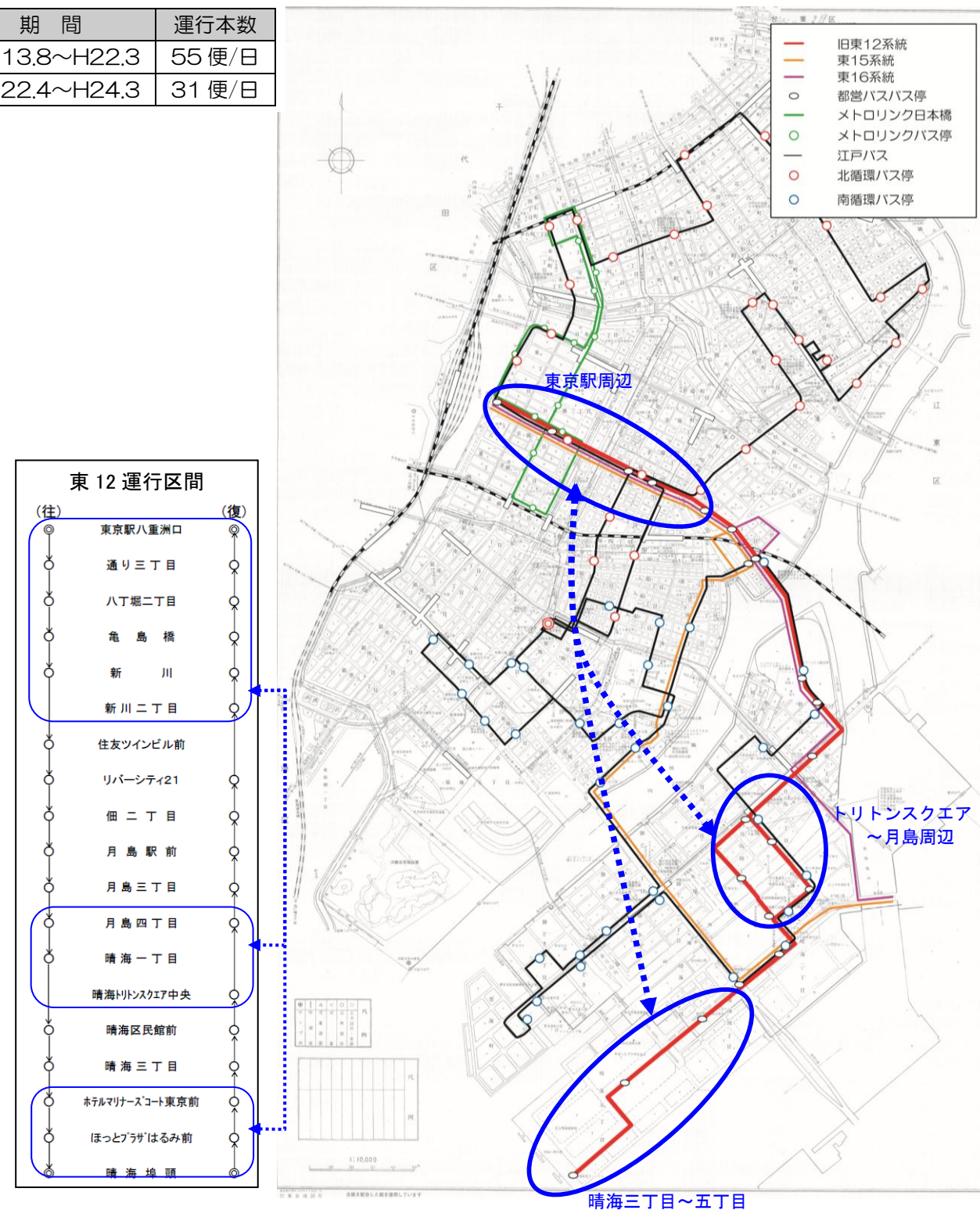


II-2. 都営バス東12系統の廃止

都営バス東12系統は、平成13年8月から区と東京都交通局との協定により、区が譲渡した7台のバスで運行を行っていた。その後、多額の損失が出ていることから、平成21年12月に協定の変更を行い、平成22年4月からは運行本数を減便（55便/日→31便/日）し、運行されてきたが、さらにその協定期間が満了し、平成24年3月に運行終了となった。

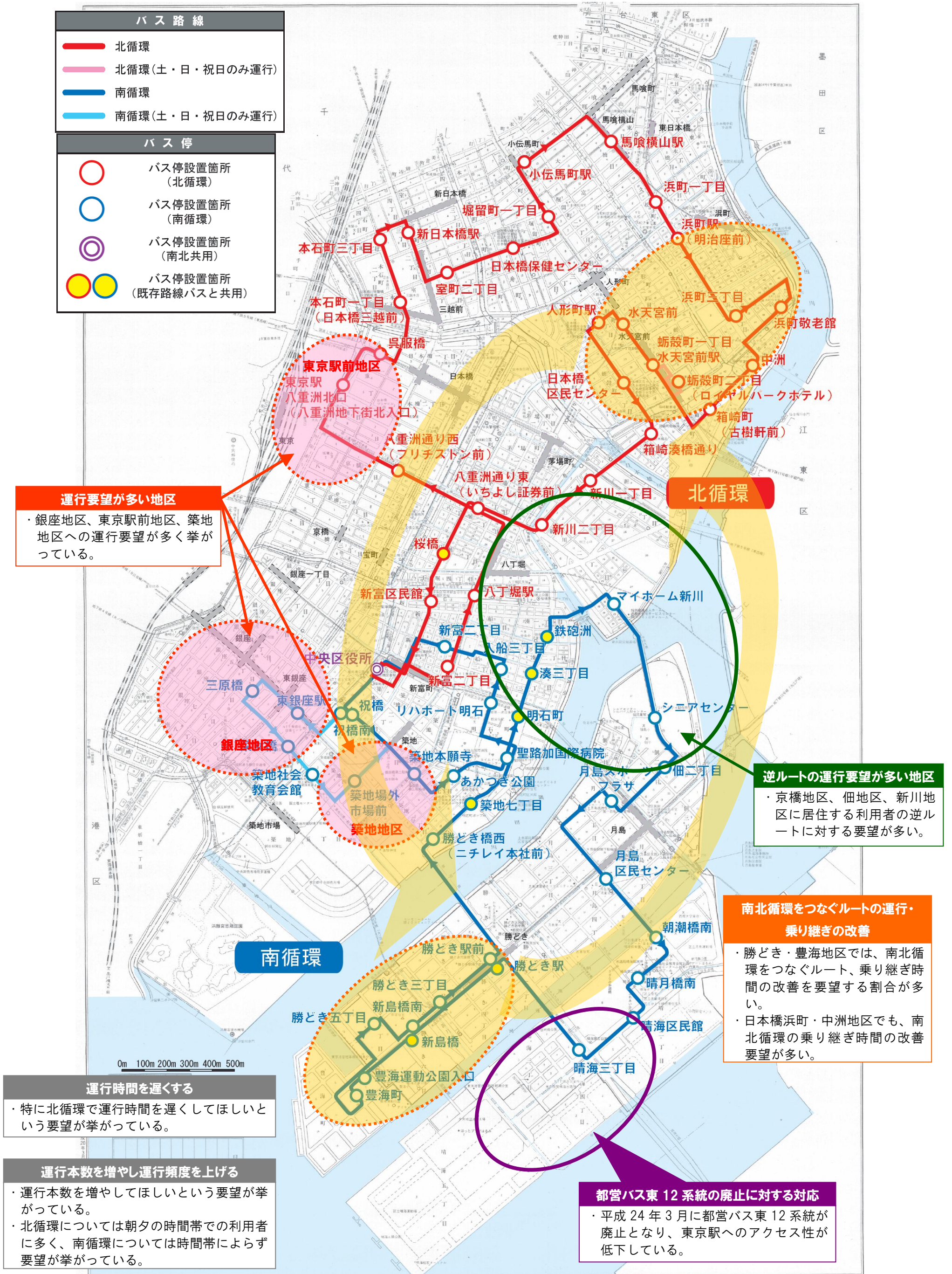
このため、東12系統の廃止により、特に晴海三丁目～五丁目、トリトンスクエア～月島周辺から、東京駅周辺へのアクセス性が低下している。

期 間	運行本数
H13.8～H22.3	55 便/日
H22.4～H24.3	31 便/日



Ⅲ これまでの寄せられた意見からの課題

・これまでの寄せられた意見から、江戸バスの現在の課題を整理すると以下のとおり。



IV 江戸バスの抱える課題と今後の対応方針

□ : 今年度追加

江戸バス導入の基本方針に関して		具体的な課題			
基本方針	達成状況・課題	検討事項	課題・ニーズ	対応方針	実施・検討時期
<方針1> 施設へのアクセスを充実することにより、利便性の向上を図る	・中央区内の主要な施設をつなぐ機関として、利用者に満足いただいている。 ・今後も区民ニーズを踏まえたルートの見直し等を行う。	運行時間 運行間隔	➡ 始発・最終便の時間を変更し、運行時間を長くする	➤ 利用実態の詳細を分析した上で、必要性や経費等を考慮して今後も検討する。	中期
			➡ 運行本数を増やしてほしい（現状は20分間隔であるが運行頻度を高くしてほしい）	➤ 利用実態の詳細を分析した上で、必要性や経費等を考慮して今後も検討する。	中期
		南北の乗り継ぎ	➡ 南北循環の乗り継ぎ時間が長い	➤ これまでも改善を図ってきたが、更に利便性を向上させるため、運行ルートの変更等ともあわせて検討する。	中期
<方針2> 区内の交通不便エリアを連絡し既存公共交通と連結することにより、公共交通サービスを補完し、充実を図る	・公共交通不便エリアの解消に寄与している。 ・他の公共交通と連携しつつ、公共交通の利便性の向上を図る。	系統	➡ 逆廻りルートの運行（京橋地区・佃地区・新川地区、勝どき・豊海地区）	➤ 運行ルートに関するこれまでの要望や、現在の利用状況等を踏まえ、可能な限り区民・利用者の利便性向上となるような新たなルートの検討を行う。	中期
			➡ ループの大きさの検討（系統見直し）		
			➡ 南北循環をつなぐルート（勝どき・豊海地区）		
<方針3> 高齢者など昼間居住者や区外からの来街者の移動の利便性を改善する	・高齢者の移動利便性については、一定の評価がされている。 ・今後は、来街者等でもわかりやすく、利用しやすいような工夫を行っていく必要がある。	運行ルート	➡ 中洲から聖路加国際病院へ1本でつなぐルート	➤ 新規ルートについては、逆廻りや系統の見直しとあわせてその可能性を検討する。	長期
			➡ 勝どき周辺から日本橋、浜町へアクセスするルート	➤ 利用者が増加傾向にあることや、駅への接続の良さなどから、継続して利用者数の推移を把握し検討する。	中期
			➡ 呉服橋から日銀の間を三越のにんべんの通りに右折		長期
			➡ 新川二丁目で乗り継ぎ可能となるルート（現在は乗り継ぎ券を発行）	➤ 大幅なルート変更を伴うため、長期的に取り組む項目とする。	中期
			➡ ほっとプラザはるみへのアクセス	➤ 環状2号線建設工事の状況を踏まえながら検討する。	中期
<方針4> 高齢者等の健康維持、地域コミュニティの活性化、商業観光の振興に貢献する	・単に江戸バスを利用するだけでなく、地域の賑わいの向上を図るための施策の検討を行う。	運行ルート	➡ 北循環から銀座方面へのアクセス性を向上	➤ 現状でもアクセス可能だが、所要時間がかかるため、より利便性を向上できるよう検討する。	中期
			➡ 銀座方面への延伸	➤ 平成24年7月のルート変更により、銀座への延伸（土日祝日のみ）を実施した。 ➤ また、勝どき・豊海、晴海地区からのアクセスについては、現在検討を進めているBRTの導入により解消を図る。	長期
			➡ 東京駅へのアクセス性向上	➤ 現状でもアクセス可能だが、所要時間がかかるため、より利便性を向上できるよう検討する。	中期
			➡ 都営バス東12廃止に伴う対応	➤ 利便性が回復できるよう検討を進める。	中期
<方針5> 地域の足となるよう、区民が愛着を持ち支えていく交通とする	・現在の利用者の今後の利用意向は高いが、非利用者が多く存在しており、非利用者の利用促進が必要である。	バス停	設置箇所 ➡ もんじゃ街バス停の再検討	➤ 地元との調整を継続するとともに、周辺の再開発事業の進展に合わせて、バス停の設置を検討する。	中期
			施設 ➡ バス停に屋根やベンチを設置してほしい	➤ ベンチについては、平成24年3月に5箇所のバス停へ設置。今後はバス停屋根の設置と合わせて、道路状況等を考慮し引き続き検討する。	中期
		その他	➡ 中央区のイベント実施時に、最寄りの鉄道駅や会場までの経路を増便するなど、柔軟に対応すること	➤ 認可外の路線を運行することが認められていないため、現運行ルートの中でイベントとの連携を今後検討する。	—